

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和7年度）2025

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	9	30	火	8:20	12:00	杉下小学校	10名
活動名称	杉下小 流しソーメン体験協力					報告者：吉井 優	

1、活動目的

8年前から藤小3年野外学習支援を実施していますが、今年度に杉下小学校からも、野外学習支援の要請がありました。4月、5月、7月に五味ヶ谷市民の森を会場に、穴掘りや竹切りなどの野外体験支援を行ってきました。担任の先生が藤小から移ってきたことで、藤小の流しソーメンの印象が強く、杉下小でもやりたいとのことでした。五味ヶ谷市民の森で育った孟宗竹でお椀を作り、流しソーメンを体験することで、五味ヶ谷市民の森をより身近に感じ、市民の森を大切に思ってもらえることになると期待して、流しソーメン体験を支援することになりました。

2、活動内容ほか

スタッフは、8時半に集合し、流しソーメン桶の準備を始めました。8時50分に児童が集まり、はじまりの会（開始セレモニー）を行いました。9時10分くらいに、ピロティニーにブルーシートをひき、竹切台と竹ノコギリをセットし、お椀づくりの準備をしました。その後、児童3人一組で、竹切台に竹をセットし、お椀づくりを行いました。

10時半ごろからソーメン流す組と、食べる組に分かれ流しソーメン体験が始まりました。コロナ禍の影響から一度口をつけた箸でソーメンを撮らないことを、徹底しました。ソーメンを食べられるだけ、お椀にとり、そのお椀をもって、花壇やベンチで食べた後、割りばしを変えてもう一杯食べられる仕組みが守られていました。

児童の流しソーメン体験が終わったところで終わりの会を実施して、児童から我々里山スタッフと、手伝いに来てくれた保護者にお礼の言葉をもらいました。児童が教室に戻った後、我々スタッフと、保護者、校長先生などで、流しソーメンをいただき、後片付けをして終了しました。

3、評価：

杉下小学校では、初めての流しソーメン体験会ということもあり、他の学年の児童も、寄ってきて興味深そうに見ていました。体験した児童からは、竹を切るのが大変だったけど、楽しかった。ソーメンが美味しかったとの感想をもらいました。保護者のかたも、楽しかったとの感想をもらい、おおむね大成功と言っていいでしょう。

4、課題

藤小でも同じ課題ですが、70名を超える児童に対し、里山スタッフ10名、保護者16名（内半分は調理担当）では、竹切体験作業を充分指導できませんでした。来年は、学校応援団の方にも参加してもらえるよう要望したところ、前向きに検討してくれるそうです。

流しソーメンの現場と、ソーメンをゆでる担当との連絡がうまくいかず、調理担当は不安を抱えていたそうです。来年は、トランシーバーを準備してもらえるようです。

<里山参加会員>

小沼、小嶋、杉山、石川、小澤弘、村上、風祭、上見、阿部、吉井

<活動写真>

